

今夏の梅雨も、全国各地で想像を超える異常豪雨による、甚大な被害をもたらしています。特に、九州各地や秋田県などで発生した豪雨被害は、記録的短時間大雨によるものでした。大量の雨により土壌が支えきれず、土石流と共に大量の流木が河川に流れだし、被害を拡大したものです。本県も同様に被害が出ています。春から低温が続いていた上に、県内各地で記録的な雨量は、日常生活はもとより農作物に多大な影響を与えました。被災されました方々に、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて、6月定例会の報告をいたします。去る6月28日(水)～7月14日(金)の日程(17日間)で、一般会計補正予算総額5億9,505万1千円の増額補正、条例改正、事件議決など11議案と、最終日に追加議案で副知事2名、人事委員会委員、公安委員会委員、そして、議会選出で監査委員2名(石井修委員と私・横尾幸秀)など人事案件5件が、全会一致で可決または承認されました。一般会計補正の主な内容は、昨年12月22日に糸魚川市街地で発生しました大規模火災への対応のほか、当初予算編成後の重要かつ緊急性のある経費などです。これに関連して、6月29日に代表質問2名(自由民主党・小林一大県議、未来にいがた・小山芳元県議)、6月30日と7月3日の2日間に一般質問12名(私も含め)、今回から常任委員会(7月4日～6日の3日間)を先に開催し、その後、常任委員会で知事に対し質問を求める必要のある委員13名による第2次連合委員会(7月10日)で議論が交わされました。

質問者の多くは、「米山知事の政治姿勢に関すること。知事がツイッター等を活用した情報発信の在り方に関すること。新・新潟県総合計画策定に関すること。加治川治水ダムの観光放流と危機管理に関すること。新潟空港アクセス改善協議会での知事発言に関すること。地域医療と医師不足対策に関すること。後を絶たないいじめや教師の対応、自殺問題に関すること。農政の30年問題に関すること。北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射に関すること。柏崎刈羽原発に係る諸問題に関すること。」などでありました。

私も一般質問で、知事の政治姿勢と県政課題について伺いました。主なものとして「知事は、常に公人であることを意識すべきであり、言葉の重みに責任を持つこと。県民に夢を語り、実現のために汗をかくこと。新・新潟県総合計画策定には、県民に分かりやすく具体的な目標値を設定すること。交流人口対策を積極的に進めること。県民誰もが歌える県民歌の搜索に関すること。」などでありました。そのうち、新潟空港アクセス改善協議会初会議終了後に、報道陣に対する知事の発言に対し、再々質問を行いました。(裏面に、知事との質疑応答を要約して掲載いたしました。)

開会初日(6月28日)には、去る3月31日病気のため逝去した、故・斉藤隆景副議長に対し、議場にて黙とうと議長の弔辞が行われました。引き続き、新潟県議会から議員在職年数30年表彰と10年表彰が行われ、不詳・私も10年表彰の栄誉にあずかりました。これも偏に、市民各位の深いご理解によるものであり、心より感謝を申し上げますとともに、今後一層、県政並びに妙高市発展のため、最大限努力をしまいることをお誓い申し上げます、議会報告といたします。詳細は議会HPを参照ください。

## 審議の結果

## 県議会6月定例会より

【会期：6月28日～7月14日(17日間)】

## ＜提案された議案・審議結果＞

- 下記の全議案可決または承認されました。
- ・平成29年度一般会計補正予算…1議案
- ・条例の一部改正など……………4議案
- ・事件議決……………6議案
- ・副知事2名、人事委員会委員、公安委員会委員、監査委員等 ……5議案

## ＜請願・陳情＞

- 採択となった請願 ……………1件
- 採択となった陳情 ……………2件
- 継続審査となった請願 ……………1件
- 継続審査となった陳情 ……………4件
- 不採択となった請願 ……………2件
- 不採択となった陳情 ……………3件
- 保留となった請願 ……………1件

## ＜議員発議＞

- 採択となった発議案 ……………9件
- 不採択となった発議案 ……………5件

## ＜議長など常任委員会、特別委員会などの新構成＞

「議長」 金谷 国彦(加茂市区選出)

「副議長」 沢野 修(五泉市・東蒲原郡選出)

- |                 |           |            |
|-----------------|-----------|------------|
| ・議会運営委員会        | 委員長…楡井 辰雄 | 副委員長…宮崎 悦男 |
| ・総務文教委員会        | 委員長…皆川 雄二 | 副委員長…中村 康司 |
| ・厚生環境委員会        | 委員長…石塚 健  | 副委員長…高橋 直揮 |
| ・産業経済委員会        | 委員長…青柳 正司 | 副委員長…松原 良道 |
| ・建設公安委員会        | 委員長…矢野 学  | 副委員長…笠原 義宗 |
| ・人口問題対策特別委員会    | 委員長…中野 洸  | 副委員長…池田千賀子 |
| ・総合交通・防災対策特別委員会 | 委員長…小野 峯生 | 副委員長…秋山三枝子 |
| ・新農業戦略特別対策委員会   | 委員長…松村 二郎 | 副委員長…小島 隆  |
| ・監査委員(議会代表)     | 石井 修      | 横尾 幸秀      |

\*太字で記載された委員会は、私が所属している委員会です。

## 知事の政治姿勢について

【質問】知事就任後、8か月経過したが率直な感想を伺う。また、フェイスブックなどで知事からの情報発信に対し「制約されるものではない。」としているが、今後の対応を伺う。

【答弁】知事の職責の重さとともに、知事の持つ権限の大きさを改めて実感している。また、ツイッターやフェイスブックからの情報発信には、賛否両論がある。知事が有する情報発信力と社会的影響力を踏まえた対応は当然であり、今後は、十分注意して対応する。

【質問】知事は、政治の目的は「一人一人の幸福を可能な限り伸ばし、一人一人の不幸を可能な限り減らしていくこと」としており、私個人としては理解できるし、政治家として一番大切な事と思うが、県民にわかり易い説明も必要と思うが如何か。

【答弁】尊敬する田中角栄先生は「理想より現実。政治とは、生活である。」と言われたが、この言葉通り「理想より現実、実際の政策実行を着実に進め、少しでも生活を改善していく」ことで、県民の理解を得たい。

【質問】新総合計画は「命と暮らしが守られ、一人一人が未来への希望を持って、自らの幸福を実現できる新潟県を創る」という基本理念の基、現状の諸課題を細かく分析するほか、実効性のある出来る限り具体的な数値目標を示すべきと思うが如何か。

【答弁】実効性のある計画には、現状の諸課題の分析や政策の具体的な目標を示すことが必要。政策の効果が検証できるような成果指標を設定していく。

【質問】知事は、前知事時代にギクシャクしていた、近隣県知事や県内市町村長との関係の修復に取り組んでいるが、現時点での手応えと今後の対応について伺う。

【答弁】就任以来、近隣県との定期的な知事会議などに参加し、また、県内市町村長とも意見交換の他、個別の対話を行ってきた。今後とも、連携強化に向け積極的に取り組んでいく。

【質問】県内の事情を知るために現場に出向き、自治体ごとに違う課題を把握し、それらの解決にあたっては、職員と一丸となった対応が不可欠であり、どのように職員との対話を積極的に進めていくか伺う。

【答弁】これまで、県内各地に足を運び、地域課題把握に努めてきた。こうした県政課題解決には、職員との連携が重要であり、様々な機会を通して職員との円滑な意思疎通を図り、信頼関係の構築に向けた環境づくりに努めていく。

## 県政の諸課題について

【質問】県内の雇用情勢についてどのように認識しているか。また、人手不足対策の一つとして、シニア世代の活用が有効であり、そのための働きやすい環境整備について伺う。

【答弁】県内の有効求人倍率が高水準に推移する中、新規求人に対する充足率は低下傾向にあり、幅広い分野で人手不足感がある。働くことを希望する高齢者が、意欲と能力に応じた働くことが出来る環境づくりに、労働局とも連携して雇用環境の整備に努める。

【質問】新潟空港アクセス改善協議会の初会合終了後、取材に応じた知事は「軌道系アクセスの採算性を問題視した」と発言されたと聞く。知事としての発言は重いものであり、受け止め方では「結論ありき。」となり、協議の主旨が失われる可能性について伺う。

【答弁】アクセス改善による利用者増加の実現性や、仮に赤字となった場合の対処も含め、具体的に議論をすべきとの考えを述べたもの。委員から忌憚のない意見や具体的な費用対効果の観点も含め、あらゆる可能性について、複眼的な議論をして本年中に県の方針を決定したい。

【質問】新潟空港アクセス改善は重要な課題だが、その議論以前に「なぜ利用客減少への対応が遅れたのか。地方空港としての役割は何か。将来あるべき空港とは何か。」等について、徹底した分析を優先すべきと思うが如何か。

【答弁】課題などをきちんと分析することは大切。国際線利用者の減少が大きく影響している。その主な原因も分析中。アクセス改善の議論と並行して、今後、空港の利用拡大やネットワーク充実に向けた戦略の見直しを行っていく。

【質問】新潟空港へのアクセスに関して、20年以上前から議論されてきたが、経済界も含めて対応が消極的であったと思う。一方、宮城県や富山県などは、将来を見据えた積極策が功を奏して発展を遂げている。過去の議論において、羽越新幹線と連結して青森まで延伸する意見もあったが、知事の所見を伺う。

【答弁】将来的に羽越新幹線と接続すれば、空港利便性向上はもとより、日本海国土軸の強化にも資するが、現時点では羽越新幹線は基本計画の段階であり、完成時期のめどが立たない。アクセス改善協議会で様々な議論をしてほしい。

【質問】県境の糸魚川市から新潟市までのアクセスは、東京へ行くより利便性が悪い。上越市から長岡市間を高速化して、将来的に羽越新幹線と連結すれば、物流や観光に加え、大規模防災対策にも多大な貢献が可能と思う。実現に向けて関係県や自治体などと連携して、国やJRに働きかける考えについて伺う。

【答弁】現在、羽越新幹線促進期成同盟会で国に働きかけている。本年4月には関係県の知事と副知事が一堂に会して、政府与党に要望を行った。実現は観光や大規模防災対策などにも資することから、引き続き国に働きかけていく。

【質問】政府は、訪日外国人観光客の目標人数を、2020年に4,000万人と設定している。中国や台湾、香港などアジア諸国からの訪日客が多く、観光客ばかりではなくビジネス客の利用も多いと考える。インバウンドやアウトバウンドも考慮すれば、本県の将来を見据え、県内空港の機能充実や県内港の施設整備など、本県の拠点性向上に対する大胆な先行投資も必要と思うが如何か。

【答弁】本県は、首都圏等との結節点にあり、地理的な特性や国際港湾、国際空港を有することから、日本海側の表玄関として大きく発展する基盤を備えており、最大限活かし充実させていくことが必要。観光やビジネスなどの需要に応えるべく充実に努める。

【質問】知事は、今月13日から初の海外行政視察で韓国と中国を訪問した際、韓国において大韓航空に対し、妙高市で本年12月にオープン予定の「ロッテアライリゾート」の利用客増などのため、増便の要請をしたが手応えについて伺う。

【答弁】6月13日に大韓航空本社を訪問し、新潟～ソウル便の早期増便を要請してきた。これに対し、大韓航空からは今後の増便に向け、具体的に検討していく旨の回答があった。県としても利用拡大に一層努力していく。

【質問】インバウンド誘客の手段は、飛行機ばかりでなく近年世界各国の状況を見れば、一度に大量の人達を運ぶ大型クルーズ船が大人気と聞く。本県も県内自治体や観光関係者などと連携して、積極的に大型クルーズ船誘致を考えるべきと思うが如何か。

【答弁】クルーズ船の誘致は、交流人口拡大や経済効果が期待できることから、地元自治体や観光関係者と連携し、寄港数増加に向けた取組を行っている。更なる大型船誘致を図るため、観光モデルルートの提案や海外見本市でのPRなど、引き続き関係者と連携していく。

【質問】佐渡観光協会が、観光PR動画「SADO METAL」を、ユーチューブで配信したところ大反響があったと聞く。群馬県宝川温泉も外国人観光客等によるSNSや口コミで拡散し、ロイター通信が世界10大温泉の一つに選ばれたが、本県の対応は如何か。

【答弁】本県も、同様の手法で新潟の魅力を発信している。各サイトの活用により外国人目線で、今後とも観光情報の発信に取り組んでいく。

【質問】少子高齢化への対応は、全国の地方都市において共通かつ最大の悩みだが、今後、高齢者の健康対策等に対応していくために、県として自治体との連携は不可欠と思うが如何か。

【答弁】本県は全国に比べ高齢化が進んでおり、今後も団塊世代の介護サービスの需要の拡大が見込まれるので、市町村の要望も踏まえ、連携しながら安心して介護を受けることが出来る体制の構築を目指していく。

【質問】2014年2月定例会で、新潟県民歌について質問したところ、前知事は「新しい県民歌を望む意見がある一方、現在の県民歌を歌い続けたいという声もあるため、県民の機運の高まりが重要ではないか。」との答弁であった。長野県民は誰もが「信濃の国」を知っていて、どこでも歌っており、県民意識が大変高いと感じているが、新潟県民が誰でも歌えるような新たな県民歌の創作について伺う。

【答弁】県民歌は、時代の流れと共に歌われる機会が減少しつつあり、また、普及や継承に賛否両論の意見がある。本県に現状を踏まえると、新たな県民歌の必要性は県民の中で機運の高まりが重要と考える。今後、様々な機会幅広く意見を伺っていく。

## 知事の新潟空港アクセス改善協議会の再質問、再々質問について

【再質問】初会合後の報道陣に対し知事が言う、「費用対効果」の発言は「結論ありき」と聞こえる。知事発言は重いもの。修正もしくは撤回しない限り、今後の協議会での議論は無意味。知事として、50年先、100年先の県政発展を目指して、自らが汗をかく積極的で前向きな行動を期待したい。政府では、2020年に外国人観光客を4,000万人としている内の1割でも受け入れることになれば県経済は潤うが如何か。

【再答弁】50年先、100年先に対する考えは可能だが、そのための経費を考える必要がある。夢を持つべきだし、私も持ちたいが具体的なプランがあるべき。

【再々質問】知事は、県政発展を実現するため、自ら汗をかき資金集めに法改正や賛同者を自ら説得し、その輪を広げる努力をすべきと思う。自ら動けば必ず人はついてくるもの。もう少し、前向きな考えを示すべきではないか。

【再々答弁】大変有意義な議論であり、私は角栄先生を非常に尊敬していることには変わりはない。角栄先生のように、夢を語り、かつ、実現できる政治家になりたいと思っている。しかし、高度成長期と違い、現在は税収の伸びは期待できない。夢は結構だが、400億円には誰かの夢を削ることになる。もし、違うというならば具体的な案を出してもらいたい。いづれにしても、協議会で議論していただきたい。